



こんにちは！ 日本共産党の

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2007年10月5日 69

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

電話・ファックス 029-284-0761

3週ほどお休みしてしまいました。お変わりありませんか？

9月議会閉会 昨年度一般会計決算に反対討論

反対したのは、村民生活を大きく圧迫することにつながった予算執行（決算）についてです。おこなった討論のなかから一部抜粋します

歳入では、三位一体の改革による国庫補助金縮減、税制改悪による個人村民税増税、課税客体が1000万円とされる地方消費税交付金、後期高齢者医療制度創設準備事業費補助金収入の問題です。これらの収入は、村民の大幅負担をともなって入ったものや、高齢者の医療制度を大改悪する準備金として入ったものなどで、認めることができません。

歳出では、港湾整備負担金支払い事業の問題ですが、常陸那珂港整備に関しては、そもそも入港の見込みがあまりないなか、莫大な税金を投入しての事業の継続自体に問題があると考えます。地元負担金支払いは、法的根拠を持たないまま、県との申し合わせによる支出であり認めることができません。

この他、議員の海外視察研修費は、村民が多額の負担増を強いられているとき、議員が海外視察に税金を充てることを顧みないというのは正しくありません。自粛すべきです。

特に留意すべき事項としてあげられるのは、村長、議長の交際費が、執行率が46.83%、50.6%であることから、予算額を減額すべきです。就農者育成の事業を促進し、隼要保護児童・生徒扶助費の該当枠を見直し、また実態把握につとめ、これらの支援強化を図ることが求められ

一般質問は住民のみなさんから寄せられた声で

福祉の充実について

特定疾患患者等への医療費助成金の見直し。病状から働きたくても働けない。場合によっては特定疾患の併発をおこす、また普通のかぜひきなど、収入が無いなか 医療費支出は本当に大きい。現在一人4000円/月となっているが金額の見直し、支給方法の見直しなどで、特定疾患患者さんの生活支援を。

障害児保育の充実を。障害児保育における保育所の役割、保護者の立場に立った対応と保育時間など内容の検討を。

障害者の自立支援策を強めて。一律1割負担への助成、食費への助成は評価できる。実費負担になっている食費、水光熱費の負担が大きい。食費助成を1日3回でおこなってはどうか。

農地保全に関して

農地の宅地化や荒廃がすすむ中、本村における農地保全に関する考え方はどうか。

水の流れの変化で農道が大きくえぐられてしまったが、復旧工事の要望に応じてほしい。

土手崩れ対策について

小さな土手が雨が降ると土が流れ出し、困っている。そこには大きな看板も数本立てられており崩れが心配。村としての対応はなにかあるか。

今年度住民税増税分を村民の暮らし支援にまわして！ 福祉政策増進のための申し入れ書

最近の相次ぐ増税や公共料金の引き上げ等で、村民生活の貧困化がすすみ、格差社会は確実に進行しているといえます。

平成19年度個人村民税は、税制の改悪により大幅に増税されました。実質増税で約4億5000万円、自然増を含めると全体で約6億円にのぼります。

これらの状況から、本村においては以下の福祉政策の実施によって、増税分の還元政策をいっそうすすめ、村民生活の向上に資するべきと考え、ここに申し入れます。

記

1. こどもの医療費無料化政策を、義務教育終了までに引き上げ、すべてのこどもの健やかな成長と、保護者の子育て支援をつよめること。

2. 65才以上の介護保険および介護予防事業に関して、現在実施している利用料助成事業については、該当サービスを全在宅サービスおよび、全入所サービスに拡大し、助成にあたっては所得制限を撤廃しておこなうこと。

3. 平成20年度発足の後期高齢者医療制度では、高齢者負担の保険料が高額になると見込まれ大変である。保険料と医療費について特段の支援を実施すること。

党村議団は、9月26日、村長に上記の申し入れをおこないました。回答は、正式な回答をいただいているから、後日お知らせします。

//東海産廃焼却施設反対住民の会のうごき//

「住民の会」は、8月4日の「会」立ち上げ後、9月末までのとりくみをまとめ、10月2日、川根集会所で記者会見を行いました。読売、茨城、常陽新聞と茨城放送が取材してくれました。

また、4日午前、知事宛（県廃棄物対策課長受け取り）に、第一次分署名1,515筆を提出しました。そして、午後は、県都市計画審議会を傍聴（抽選の結果、3名が傍聴）し、今回も継続審査となった審議状況を見守りました。「引きつづき、運動を村内全域に広げていこう」と話し合っています。

署名総数 1,515筆 募金総額 282,500円
会員 61名 看板作成・設置 30枚
その他 一斉署名行動 2回（1日半）
団体申し入れ行動 1回・10団体
村当局への要請、県都市計画審議会の傍聴、
ニュース発行、県ヒアリング（10/1）
会員個々人での署名・入会・カンパの訴えも奮闘

